

あいおいニッセイ同和損保と One Bright KOBE が、「GLION ARENA KOBE」を 基点とした新たなまちづくりに向け、資本業務提携を締結

2024年4月18日

MS & ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介、以下「あいおいニッセイ同和損保」）と 2025 年 4 月開業予定の「GLION ARENA KOBE」を運営する株式会社 One Bright KOBE（代表取締役社長：渋谷 順、以下「One Bright KOBE」）は、2024 年 3 月 29 日に資本業務提携契約を締結しましたのでお知らせします。

1. 背景

神戸ウォーターフロントで 270 度海に囲まれた次世代アリーナ「GLION ARENA KOBE」は、民設民営アリーナ創出プロジェクト「神戸アリーナプロジェクト」により、2025 年 4 月の開業を目指しています。開業後は、B. LEAGUE（プロバスケットボールリーグ）「神戸ストークス」のホームゲームが行われるほか、音楽コンサートやプロスポーツイベント、MICE^{※1}など多様なイベントの開催を予定します。

One Bright KOBE は、アリーナ運営企業として国内で初めて「港湾環境整備計画」^{※2}の認定を受け、「GLION ARENA KOBE」周辺の港湾緑地とアリーナの一体運営により、アリーナを基点に日常的なにぎわいを創出する神戸の新たなまちづくりを目指しています。

あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DX」の考えのもと、デジタルを活用した社会との共通価値創造に取り組むとともに、「地域密着」を行動指針のひとつに掲げ、地域社会とともにさまざまな社会課題の解決に資する取り組みを展開しています。

今般、両社は、「GLION ARENA KOBE」を基点に 50 年にわたる「都心・ウォーターフロントエリアの未来づくり」^{※3}の実現に向け、あいおいニッセイ同和損保の地方創生取り組みのノウハウを活かしながら、神戸の新たな価値協創に取り組むため、資本業務提携契約を締結しました。

※1 会議 (Meeting)、研修旅行 (Incentive travel)、国際機関・団体、国際会議 (Convention)、展示会・見本市 (Exhibition) などの頭文字を使った造語

※2 2022 年 12 月に国土交通省が創設した港湾緑地等における官民連携による、みなとの賑わい空間を創出するための制度

※3 神戸市と One Bright KOBE の親会社である株式会社スマートバリューが 2022 年 8 月に締結した事業連携協定

<https://www.smartvalue.ad.jp/news/5643/>

(GLION ARENA KOBE イメージ)



(GLION ARENA KOBE 夜景イメージ)



2. 新たな価値提供に向けた両社の取り組みイメージ

項目	内容
周辺地域の活性化	<ul style="list-style-type: none">神戸ウォーターフロントエリアにおける集客・施設間の回遊を促進させるためのマイクロモビリティの導入による利便性向上やデジタルを活用した混雑緩和や事故防止策の検討
安全・安心なまちづくり	<ul style="list-style-type: none">スポーツや音楽ライブなどの興行時に来場者が安全・安心に来場でき、場内で過ごすことができるための商品・サービスの展開や情報発信あいおいニッセイ同和損保が培ってきたリスクマネジメントの知見・ノウハウを活用した災害時に備えた防災・減災に向けた共同施策の検討

3. 今後の展開

あいおいニッセイ同和損保と One Bright KOBE は、「GLION ARENA KOBE」を軸とした神戸ウォーターフロントエリアの発展へ貢献するため、アプリを活用した神戸市内・ウォーターフロントの回遊性を促進させる施策の検討や、来場者向けの安心安全を確保するためのサービスや情報発信など、にぎわい創出と安全・安心なまちづくりに向けて推進していきます。

以上

<神戸アリーナプロジェクト概要>

神戸アリーナプロジェクトは、One Bright KOBE の親会社であり、クラウドサービスを軸に行政デジタル化やスマートシティ等を手掛ける株式会社スマートバリュー（本社：大阪府中央区、取締役兼代表執行役社長 渋谷 順）と株式会社 NTT ドコモ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 井伊 基之）が運営し、NTT 都市開発株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 辻上 広志）が開発を担う、3 社企業コンソーシアムによる民設民営の次世代アリーナプロジェクトです。